

## 平成29年度流通体制に関する アンケート調査結果 (流通適正化委員会)

# アンケート調査の 概要

- ●調査方法 会員会社へのMail送信による聞き取り調査
- ●調査期間 平成29年4月1日~平成30年3月31日
- ●調査期日 平成30年8月1日
- ●提出会社 42社中41社(提出率:97.6%)

#### 前提条件

- 会員各社の決算月が異なりますが、アンケートは直近2期分の決算の数字でご返答下さい。例えば3月決算の会社は平成29年3月度決算と平成30年3月度決算の数字を、12月決算の会社は平成28年12月度決算と平成29年12月度決算の数字をご記入下さい。
- 吸収合併など集計に影響を及ぼすと考えられる事項があった場合は、備考欄にご記入下さい。
- 対象品目は承認品目とし、販売のみの製品は除いて下さい。また、原薬の販売や受託加工賃は含めず、あくまでも医療用医薬品の最終製品の売上高のみをご記入下さい(\*質問4については全販売品目を対象としてご回答願います)。

## 調査結果

### 質問1

御社の医療用医薬品の販売金額と構成比をご記入下さい。

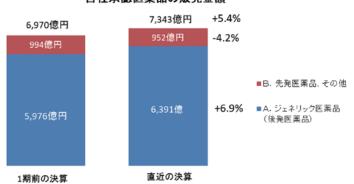
- 「A.ジェネリック医薬品(後発医薬品)」は、「診療報酬上の後発医薬品」(日本薬局方における「診療報酬上の 後発医薬品」は含み、昭和 42 年 9 月末日以前承認品目は除く)を対象として下さい。
- 「B.先発医薬品」については、上記に該当しない医療用医薬品の売上をご記入下さい。

#### 表. 販売金額と構成比

21. 11.12 = 12 11.11.11 = 1					
	1 期前の決算 (億円)	構成比 (%)	直近の決算 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)
A. ジェネリック医薬品 (後発医薬品)	5,976	85.7%	6,391	87.0%	6.9%
B. 先発医薬品、その他	994	14.3%	952	13.0%	-4.2%
医療用医薬品 合計	6,970	100.0%	7,343	100.0%	5.4%

回答社数:39 社(未回答 2 社)

#### 自社承認医薬品の販売金額





#### 表. 医療用医薬品の売上規模

2. —					
医療用医薬品の売上規模	1期前の決算	直近の決算			
1000 億円超	2	2			
800 億~1000 億円	1	1			
600 億~800 億円	0	1			
500 億~600 億円	1	0			
400 億~500 億円	1	0			
300 億~400 億円	0	1			
200 億~300 億円	3	3			
100 億~200 億円	8	8			
50~100 億円	6	6			
0~50 億円	17	17			
未回答	2	2			
	41	41			

表. GE 医薬品の売上規模

GE 医薬品の売上規模	1期前の決算	直近の決算
1000 億円超	2	2
800 億~1000 億円	1	1
600 億~800 億円	0	0
500 億~600 億円	0	1
400 億~500 億円	1	0
300 億~400 億円	0	0
200 億~300 億円	1	1
100 億~200 億円	7	6
50~100 億円	7	9
0~50 億円	20	19
未回答	2	2
	41	41

コメント

回答のあった39社の医療用薬品の売上の合計は7,343億円、そのうちジェネリック医薬品の売上高は 6,391億円で、前年度からの伸長は+6.9%であった(販売額ベース)。

## 質問2

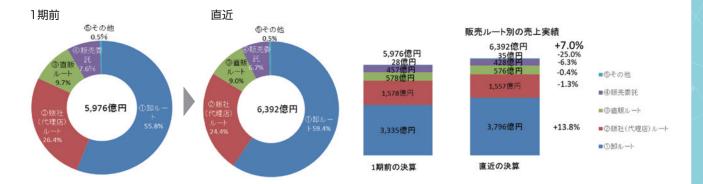
質問1の「A.ジェネリック医薬品(後発医薬品)」について、 ルート別年間売上(単位:百万円)と構成比をご記入下さい。

○ 「A.ジェネリック医薬品(後発医薬品)」の金額が、以下の合計と等しくなるよう記載下さい。

#### 表. ルート別年間売上

	1 期前の決算 (億円)	構成比(%)	直近の決算 (億円)	構成比(%)	前期比
①卸ルート	3,335	55.8%	3,796	59.4%	13.8%
②販社(代理店)ルート	1,578	26.4%	1,557	24.4%	-1.3%
③直販ルート	578	9.7%	576	9.0%	-0.3%
小計(①+②+③)	5,491	91.9%	5,929	92.8%	8.0%
④販売委託	457	7.6%	428	6.7%	-6.3%
⑤その他	28	0.5%	35	0.5%	25.0%
販売ルート合計 (①+②+③+④+⑤)	5,976	100.0%	6,392	100.0%	7.0%

回答社数:39 社(未回答 2 社)



コメント

回答のあった39社の、ジェネリック医薬品の売上は、卸ルートを中心に伸長しており、全ジェネリック医薬品= 販売金額の卸ルートの構成比は59.4%にまで上昇した。販社ルートは集計を開始して、初めて減少に転じた。



## 質問3

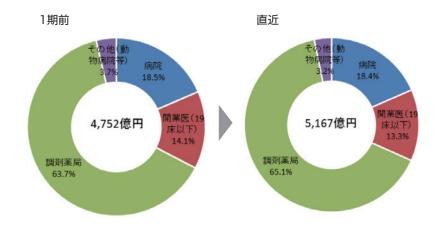
施設別取引高と構成比をご記入ください。 (※質問2で①~③に売上があった会社のみ)

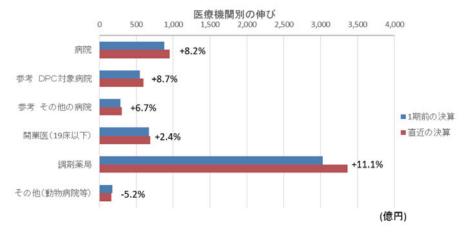
- 各社で把握しているもののみを記載して下さい(電子化データ未入手などの理由により集計が できない場合は「未集計」に記載下さい)
- 病院の売上(①200 床以上/②199 床以下)については、任意の記載事項とさせていただきます。
- 質問2の「小計」が、以下の「医療機関 合計」と等しくなるよう記載下さい。

#### 表. 施設別取引高と構成比

	1 期前の決 算(億円)	構成比(%)	直近の決算 (億円)	構成比(%)	前期比
病院	881	18.5%	953	18.4%	8.2%
参考 DPC対象病院 (準備病院を含む)	551	11.6%	599	11.6%	8.7%
参考 その他の病院	285	6.0%	304	5.9%	6.7%
開業医(19 床以下)	670	14.1%	686	13.3%	2.4%
調剤薬局	3,027	63.7%	3,363	65.1%	11.1%
その他(動物病院等)	174	3.7%	165	3.2%	-5.2%
医療機関 合計	4,752	100.0%	5,167	100.0%	8.7%

回答社数:28 社





コメント

調剤薬局での伸びが+11.1%と大きく、販売金額の構成比では65.1%となった。



## 質問4

卸業者との取引についてご記入下さい。(2018年3月31日現在)

### <卸/販社との取引の有無>

	自社販路を 持つメーカー数	取引あり	取引率
メディパルHD		31	94%
スズケングループ		29	88%
アルフレッサHD	33	30	91%
東邦HD	აა	31	94%
バイタルケーエスケーHD		31	94%
販社		22	67%

回答社数:38 社(未回答3社)

コメント

自社販路の多くが卸チャネルを活用しており、また2/3の会社は販社のチャネルを活用している。

### 質問5

【質問 5】緊急配送体制についてお伺いします。

(※質問2で①~②に売上があった会社のみ)

御社は緊急配送体制(=卸業者より規定の受注締切時間以降に緊急配送の求 めがあった場合、それに応じる体制)を有していますか?また、平成28年度中 に要請があった件数、対応できた件数をご記入ください。

※「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」に記載の取組(抜粋)

引き続き、卸業者が納期(翌日配送等)を指定する場合に、当該納期に対応する配送体制を確保す るとともに、卸業者が在庫切れした場合の即日配送を95%以上にする。〔継続事業〕

緊急出荷体制の有無			
ありの会社	26	なしの会社	7

自社販路を持つ会社:33 社

実際に緊急出荷の依頼を受けた企業	17
依頼に対応した企業	17(100%)

実際に緊急出荷の依頼を受けた件数	2,655
依頼に対応できた件数	2,649 (99.8%)

コメント

自販する33社のうち、26社が規定時間外の注文にも応じる体制を確保しており、実際に依頼を受けた17社につ いては、集計期間中に緊急出荷の依頼があった件数の99.8%に対応できたとの集計であった。本年度に緊急出荷 に対応できなかった6件(1社)について、その理由を確認したところ、いずれも緊急出荷が可能な時間帯が過ぎて からの出荷依頼とのことであった。



## 質問6

仕切り価格の卸業者への提示について。

1) 2018年3月の薬価告示後、卸全社に対して仕切り価格の提示が完了した時期についてご記入ください。

当日	7
1日後	2
2 日後	7 2 3 9
3 日後	
4 日後	1
5日後	3
6日後	1
7日後	1
8日以上	2
未回答	2
	33

2) 割戻し・アローアンス体系の運用基準の書面による提示の有無。

書面により提示している	31
書面により提示していない	0
割戻し・アローアンスを設定していない	1
未回答	1

### 自由記載

未妥結減算制度対策や流通改善の卸状況確認を実施し当社品の妥結状況を合わせて確認している。

・単品単価の推進 / 売差マイナスの改善を要望

## コメント

仕切り価格の提示が完了した時期ついては、会員各社でばらつきがみられた。

8日以上を要する会社に理由を確認したところ、①他社の全薬価も見てからの決定、②価格決定までの事務 手続き、③相手が多い(アポ取りに時間が掛かる)等が寄せられた。

また、割り戻し、アローアンスについては、未回答の1社、また割り戻し、アローアンスを設定していない1社 を除き、各社とも書面により提示していた。



### 質問7

2021年3月末に向け、販売包装単位、および元梱包装単位への変動情報を含 むバーコードの付与が原則化されます。御社の状況について下記の表に記載 ください。

- 2018年3月末現在の状況をお答えください。
- 委託製造を含む全アイテム、そのうち自社製造分についてそれぞれご記入をお願いします。

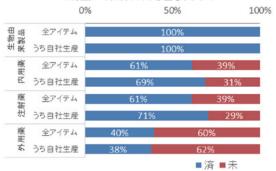
### 1)調剤包装単位

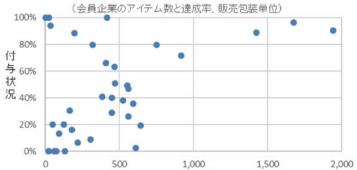
区分			亲	女	
		アイテム数	商品コード	有効期限	製造番号又 は製造記号
特定生物由来製品	全アイテム	0	0	0	0
村 村	うち自社生産	0	0	0	0
生物由来製品	全アイテム	64	64	13	13
(特定生物由来製品を除く)	うち自社生産	42	42	2	2
内用薬	全アイテム	9,717	9,474	8	8
(生物由来製品を除く)	うち自社生産	7,411	7,228	5	5
注射薬	全アイテム	1,326	1,302	0	0
(生物由来製品を除く)	うち自社生産	871	856	0	0
外用薬	全アイテム	1,086	1,013	0	0
(生物由来製品を除く)	うち自社生産	516	477	10	10

### 2)販売包装単位

区分			新バーコード表示数			
		アイテム数	商品コード	有効期限	製造番号又 は製造記号	
特定生物由来製品	全アイテム	0	0	0	0	
	うち自社生産	0	0	0	0	
生物由来製品 (特定生物由来製品を除く)	全アイテム	70	70	70	70	
	うち自社生産	44	44	44	44	
内用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	13,036	12,247	8,015	8,015	
	うち自社生産	9,776	9,025	6,725	6,725	
注射薬	全アイテム	1,446	1,385	882	882	
(生物由来製品を除く)	うち自社生産	947	918	668	668	
外用薬	全アイテム	1,247	1,107	493	493	
(生物由来製品を除く)	うち自社生産	509	454	193	193	

### 変動情報を含むバーコードの付与状況 (剤型区分別、販売包装単位)





アイテム数

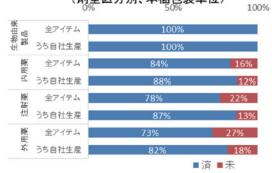
変動情報を含むバーコード付与状況

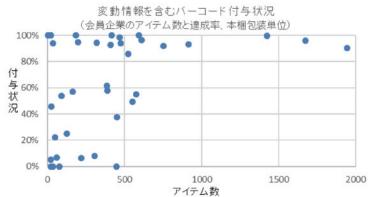


#### 3)元梱包装単位

区 分		アイテム数	新バーコード表示数			
			商品コード	有効期限	製造番号又 は製造記号	数量
特定生物由来製品	全アイテム	0	0	0	0	0
	うち自社生産	0	0	0	0	0
生物由来製品 (特定生物由来製品を除く)	全アイテム	70	70	70	70	58
	うち自社生産	72	72	72	72	72
内用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	12,362	11,053	10,922	10,360	9,970
	うち自社生産	9,179	8,430	8,318	8,065	7,846
注射薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,418	1,184	1,117	1,105	1,062
	うち自社生産	1,072	968	937	937	910
外用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,233	1,022	992	904	903
	うち自社生産	390	324	321	321	321

変動情報を含むバーコードの付与状況
(剤型区分別、本梱包装単位)





コメント

販売包装単位への変動情報を含むバーコードの付与状況は、内用薬、注射剤では自社生産分が70%前後、委託 生産分がやや遅れて60%程度となっている。一方で、外用剤においては自社、委託とも40%程度と大きく遅れ ている状況である。また、本梱包装単位への付与状況は、販売包装単位より高い水準で進んでいる。 また、アイテム数の大小と変動情報を含むバーコードの付与状況を別途にプロットしたが、アイテム数の多い 会社では、むしろ変動情報の付与が進んでおり、5-600アイテム程度の会社以下で、取り組みに差がみられた。